



■2023年4月、図書館リニューアル
「ライネルス中央図書館」完成

「知の塩」「世の光」として真のイノベーションを実現するために、モダニズム建築の代表的建築家アントニン・レーモンドにより設計された本学図書館が、「であう」「つながる」「かわる」をコンセプトに、南山学園創設者であるヨゼフ・ライネルス師の名を冠した「ライネルス中央図書館」にリニューアルしました。



■南山大学は、ジブリパークの
オフィシャルパートナーです。

ジブリパークは「自然の叡智」「人、いきもの、地球に対する愛」を理念に、地球規模の課題の解決の方向性と人類の生き方の発信を目的として開催された「愛・地球博」の精神を継承する構想が立てられています。その方針が、本学の理念や取り組み内容と一致することから、オフィシャルパートナーとして応援することとしました。



©Studio Ghibli



に掲げている南山大学では、交換留学、認定留学、その他多彩な短期留学プログラムに加え、海外インターシップの情報提供なども行っています。交換留学は、交流協定を締結している海外の大学へ授業料免除で学部留学する制度。交換協定校は37カ国・地域に126校あります(2024年5月時点)。認定留学は協定校以外の希望留学先や留学期間を選び、履修プログラムを組み立てることができます。

学部独自の短期留学プログラムも8学部全てで実施されています。授業の一環として実施される各プログラムは、語学を学ぶだけでなく、現地の文化に触れるフィールドワークや企業訪問など、学部ごとの専門性を反映させた内容になっています。他にも学部学科に関係なく全ての学生が参加できる短期留学プログラムも実施しています。

また、派遣留学生として(交換・認定)留学する予定者への経済上の援助を行う目的で「南山大学派遣留学奨学金」を設定し、海外留学をサ

**細やかな就職支援で
高い就職実績を誇る**

就職においても毎年高い実績を誇っています。数多くの卒業生がトヨタ自動車や三菱UFJ銀行などの国内トップ企業に就職しており、優秀なOB・OGが全世界で活躍していることは在校生にとって大きな強みとなります。キャリア支援課では就職活動に関する基本的な内容から各種対策講座まで様々なプログラム



ポートする制度を用意しています。このように南山大学では、留学や留学生の受け入れ体制の整備と強化新プログラムの開発、海外大学との連携促進、海外の大学や留学生に対する積極的な広報を実施しています。

業界・職種研究会をはじめとするキャリアサポータープログラムでは、第一線で活躍中の卒業生が講師を務めたり、学内会社説明会には地元企業以外にも関東や関西から多数の企業が参加します。



キサラ学長は、「学生の皆さんには、目標を持ち、いま自分にできることを考えて一歩ずつ行動してほしい。歩みが続けば、やがて大きな潮流となります。南山大学での学びを経て、一人ひとりが自身の本来の価値を見だし、地球規模の関心をもち、自ら課題を見つけて動く人になってほしいと願っています。」とメッセージを贈っています。

を実施。例えば外交官や国際機関職員など国際的な活躍を目指す学生には、「国際社会で活躍するキャリアを考える特別プログラム」が用意されているほか、教員志望の学生の支援や相談に応じる専門機関の「教職センター」も開設しています。



ロバート・キサラ学長
アメリカ合衆国(シカゴ市)出身。Divine Word College数学科卒業後、Catholic Theological Union大学院神学研究科、東京大学大学院人文科学研究科修士課程および博士課程修了。2020年より現職。神言修道会日本管区長、総顧問、副総会長などカトリックの各種要職を歴任。

南山大学は、中部地区を含む西日本唯一のカトリック総合大学であり、「Hominis Dignitati (人間の尊厳のために)」を教育モットーに掲げています。

学問と人間のあり方を考える学びを土台とし、学生に寄り添う教育を実現してきました。

ポストコロナの今、求められているのは「以前の現状」に戻すことでなく、「新しい現状」を作り出すことです。このための本学の役割は、「Dignity (尊厳)」「Diversity (多様性)」「Dialogue (対話)」の3つのDで表現できます。対話を通じて、異なる文化や価値観を持つ人と理解し合い、多様性や尊厳を尊重しつつ視野を広げることができる教育環境は本学の大きな特徴の一つです。

南山大学

〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町18 入試課 TEL 052-832-3013 <https://www.nanzan-u.ac.jp/>

文理融合のキャンパスで 国際性と専門性を併せもつ人材を育て 「世界から選ばれる大学」を目指す

**「Hominis Dignitati」
(人間の尊厳のために)
を教育モットーに
「国境のない学びの場」を提供**

南山大学では「人種、障がい、宗教、文化、性別など、様々な違いを認識し、多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を大切に、人々が共生・協働することで、新たな価値の創造に貢献する」というビジョンを掲げており、「国境のない学びの場」とするための改革と環境整備も展開しています。世界から選ばれる大学として、「外国語で」行う授業を提供しており、経済学や文学など2024年度は約60科目を開講。日本人学生と外国人留学生との外国語による知的交流も盛んです。

**2022年4月、新国際学生宿舎
「南山大学ヤンセン国際寮」開寮**

2022年4月、キャンパス隣接地に、178室の寮室を有し、外国人留学生と日本人学生がともに暮らし学び合う国際性豊かな学生宿舎を開寮しました。1年次から入居可能

**オンラインで海外大学と連携
COIL型授業の実施**

南山大学は米国を中心とした海外の大学とCOIL (Collaborative Online International Learning) と

新国際学生宿舎の最大の特徴は、全入居者を対象に年間を通じて提供される「教育プログラム」です。異なる価値観を持つ学生との共同生活の場だけではなく、多様化する社会で必要なスキルを身につけるためのさまざまなアクティビティを提供します。

多様なバックグラウンドを持った学生たちとの共同生活を通して、キャンパスでは経験できない多文化理解を深め、人間の尊厳、他者の尊厳を大切に、共生・協働を大事にするグローバルリーダーを育てます。



**多彩な留学プログラム
国内外で多文化交流を促す**

大学の国際化を最重要課題の一つ

呼ばれる教育プログラム(NU-COIL)を展開しています。COILとはオンラインを活用した国際的な双方向の教育手法のことで、SNSやLMS(学習管理システム)などを使って南山大学生と海外の大学生を繋ぎ、共同プロジェクトに取り組みます。COIL型授業に加えて海外留学を経験することで、これからの社会で活躍するグローバル人材に求められる力を養います。

また、COIL型授業を受講することで留学前に現地の知り合いができ、留学先での授業や生活上の不安を解消することができます。一方で、留学後の受講は、外国語運用能力の維持向上や、現地学生との関係性の継続につながります。

